



第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定にかかわる住民説明会等の実施結果について

福祉保健委員会資料より

1 説明会開催状況

第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画 住民説明会の参加者数

日程	時間	会場	参加者数
12月1日(火)	18時30分～	渋谷区役所 大集会室	11人
12月4日(金)	10時～	初台区民会館 大集会室	16人
12月7日(月)	10時～	地域交流センター恵比寿 コミュニティホール	14人
12月11日(金)	9時30分～	幡ヶ谷区民会館 集会室	22人
参加者合計			63人

・住民説明会での意見表明：45件以上

2 パブリック・コメント実施概要

・意見提出者7人 件数63件

●住民説明会やパブリックコメントに寄せられた意見・回答(抜粋・要旨)

意見	回答
○計画全般について 説明会の開催回数が少なく、開催時間は介護をしている人や働いている人は参加できない。	説明動画をホームページに掲載する方向で検討。
○地域共生社会の実現について 「地域共生社会の実現」とあるが、社会的弱者がおいてきぼりにされるのでは。	そのようなことがないように、当事者の意見を尊重しながら進める。
身近な地域に相談窓口が増え、専門的・包括的な支援つなげてほしい。各地域包括支援センターの体制を強化してほしい。	新規事業で、各圏域の機能強化型地域包括支援センターに障がい分野も含めた相談窓口を設置する。各センターでも機能強化型センターと連携して支援体制を構築する。
○デジタルデバインド解消事業について 数値目標を決め、本人の意思に沿わないままスマートフォンやタブレットを貸与していくことは、通信費や費用負担やネット犯罪対策などの問題が多く反対である。	2年間の実証実験として、スマートフォンを保有していない高齢者から希望を募り、利用してもらう。ネット犯罪対策も講座等でサポートを強化する。
○高齢者難聴補聴器購入費助成事業について 購入について、負担の上限や調整費用についての支援、予算は50人分を検討と聞いているが、詳細は。	補助額の上限や対象、調整費用については検討中。50人分という数字も検討中。
○人材確保・育成について 人材確保について、待遇の改善や賃金の引き上げなど区の独自施策を検討すべき。	現時点で区独自で賃金の上乗せを行う予定はない。働きやすい職場づくりについて、事業者と連携を強める。
○介護保険料について 介護保険料が高く、払えない人がいる。介護保険料の値下げを検討してもらいたい。	所得段階の割合も踏まえ検討し、介護給付費準備基金の活用も視野に入れる。低所得者への軽減も含め、金額を設定する。

第8期高齢者保健福祉計画等答申(案)策定

住民の声活かし、高齢者の尊厳守れる計画に

介護保険事業計画等作成委員会は1月18日、2021年度から3年間の高齢者福祉・介護保険事業の内容を決める第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(第8期計画等)にかかわる住民説明会等の報告、答申案の説明を受け協議しました。

翌19日の福祉保健委員会では、第8期計画策定にあたっての住民説明会とパブリックコメント(昨年12月実施)の結果について報告を受けました。なお、同日の委員会で2021年度から始める第7次障がい者保健福祉計画・第6期障がい福祉計

画・第2期障がい児福祉計画策定にかかわる住民説明会・パブリックコメントの結果についても報告を受けました。第8期計画策定にかかわる住民説明会等の報告に対して、私が質疑したいくつかの点についてご紹介します。

▼説明会について
住民から区の住民説明会以外に説明会開催の要求が

1件あったが、「区のホームページにYouTubeに説明動画を配信しているのだから、それをみてほしい」として断った件について、区の説明会の回数や時間帯などが限られていて、住民の声を反映させてより良い計画にするためには、参加者相互の意見を聞くことができる説明会は積極的に開くべきであるとして改善を求めました。住民から「社会的弱者が

「高年齢者の尊厳」を守る国と自治体の責任を明記した計画にするよう求めました。また、より身近な相談支援窓口である地域包括支援センターの機能・体制強化の声が出ており、区内4か所の機能強化型だけでなく、計画の中で11か所すべての地域包括の体制を強化するよう指摘しました。

▼その他
人材確保では、賃金引上げの必要性について明記すること、防災や感染症対策では、事業所間の支援ネットワークの構築や、そのために日常的にゆとりある職員体制を構築する必要があると指摘しました。